足立区立第四中学校　　令和５年１０月３１日　第６号

第四中だより

〇自ら学ぶ人　〇心のひろい人　〇たくましく生きる人　　校長　難波　浩明

学芸会発表会・合唱コンクール
心ひとつに。四中生躍動。

新型コロナウイルス感染症防止のため､昨年度はオンラインでの学芸発表会でしたが、５月の連休後、感染症が５類になったことを受け、また、感染症の状況等も鑑み、四中生が一堂に会しての学芸発表会が久しぶりに体育館にて開催されました。

まずは、トップバッター、吹奏楽部の登場。１１月に行われる足立区の連合音楽会で演奏する曲目に加え､ディズニーメドレーなど､みんなに親しみのある曲目も披露され､会場の生徒の皆さんも、久しぶりとなる、迫力あるライブ演奏に心動かされ、一体感を感じ，大きな拍手を送っていました。

２年生の皆さんの発表は、６月に行われた職場体験学習についてのプレゼンでした。普段私たちにとって馴染みのあるお店や施設ですが、発表を通して、その裏側での苦労ややりがい等がよく分かる発表でした。次年度職場体験を行う１年生の皆さんにとっても、とても参考になるプレゼンでした。
３年生の皆さんの発表は、修学旅行についてのプレゼンでした。テレビの生中継の手法を用いて、臨場感あふれる演出を行ったり、下級生の皆さんとの双方向のやりとりを取り入れたりするなど、聞き手を惹きつける様々な工夫に、さすが３年生だなと感心しました。

英語のスピーチでは、母国語ではない、英語によるスピーチで大変緊張したことと思いますが、多くの観客の前で堂々と自分の思いや考えを発表する姿にとてもうれしく思いました。

空手部の形の発表では、緩急、強弱、スピード、バランスが絶妙で、３人の息をぴったりと合わせて演技をしている姿に圧倒されました。全国レベルの空手部の生徒の皆さんの組手の演技や、空手のすごさを先生方に体感してもらう企画などを通して、改めて空手の迫力を実感するとともに、体育館全体も熱気に包まれていました。

２日目は､四中生が体育館に一堂に会しての合唱コンクールです。１年生にとっては、中学校に入って初めての合唱コンでしたが、元気にハツラツとした歌声で課題曲や自由曲を歌い上げていました。２年生にとっても、昨年実施できなかったため、初めての合唱コンでしたが、声量のみならずハーモニーの美しさが光っていました。インフルエンザなどのり患もあり、当日参加できない生徒も学年全体に複数人いましたが、クラスによっては、当日指揮者の生徒がいない中で、生徒の皆さんの意向によりアカペラで合唱を行ったクラスもありました。みんなで力を合わせて困難を乗り越えようとしている姿に、歌い終わった後、大きな拍手が沸き起こっていました。３年生にとっては、中学校生活、最初で最後の合唱コンクールとなりましたが、どのクラスも甲乙つけがたい深みのある素晴らしい合唱で、私たちに多くの感動を与えてくれました。最上級生としての矜持を１，２年生に示してくれ、大変うれしく思いました。

終わりに、今回の学芸発表会及び合唱コンクールを中心になって準備・運営してくれた実行委員会の生徒の皆さんをはじめ、様々な形で支えてくれた生徒の皆さんに感謝するとともに、長時間にわたり、合唱を見守り応援してくださったご来賓の皆様、ＰＴＡ役員の皆様及び保護者の皆様に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

＜１０月　学芸発表会・合唱コンクール特集＞

吹奏楽部

２年生　職場体験学習　発表

３年生　修学旅行　発表

２年生　英語スピーチ

空手部　形の発表

１年生　合唱コンクール

２年生　合唱コンクール

３年生　合唱コンクール